

山梨県産業技術センターニュース・通巻26号
2026 January
Vol.26 Yamanashi Industrial Technology Center

NEWS

TOPIC 伝統と革新の交差点 — ハタオリマチとともに郡内織物産地の未来を紡ぐセンターの挑戦

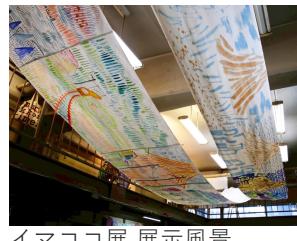
富士吉田市や西桂町などの郡内織物産地は、OEM下請け産地として発展したため、長く知る人ぞ知る存在でした。近年では状況が変化し、多くの織物工場が自社ブランドを展開するとともに、様々なイベントが生まれ、注目を集めています。当センターでは、こうした時代に合わせた変化を後押しするため、通常の試験・研究に加え様々な支援を行っております。

ハタオリマチフェスティバル

今年10周年を迎えるハタオリマチフェスティバル（以下ハタフェス）が10月18、19日に富士吉田市内で開催され、2万8千人が訪れました。そのなかで行われた「イマココ展」は、産地織物企業と東京造形大学テキスタイルデザイン専攻学生によるコラボ事業「フジヤマテキスタイルプロジェクト」の途中経過を紹介する展示会です。当センターは2009年のコラボ開始時から伴走支援を続けており、今回の展示では企業と学生、計7つのペアによる開発プロセスを共有できるよう可視化した「イマココチャート」の制作を行いました。



イマココチャート



イマココ展 展示風景

そのほか、織物ゆかりの富士吉田市街地を徒步で見学する「ハタオリマチABCツアー」がそれぞれ90分のコースで、他産地のキーパーソンや行政機関担当者を対象に開催され、案内役を秋本主任研究員が担当しました。かつて織物を介して作り手と買い手が出会う場所であった街が、ハタフェスのようにより多彩な出会いの舞台になるまでの歴史をひもとき学びながら、全国から訪問した参加者のべ29名が織物ゆかりの街歩きを楽しみました。

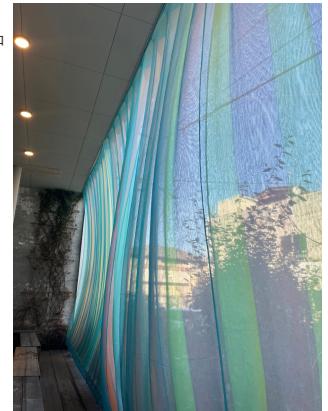


ハタオリマチABCツアー

FUJI TEXTILE WEEK

FUJI TEXTILE WEEKは国内唯一の布のアートイベントとして2021年に始まり、今回は11月22日～12月14日に富士吉田市内で開催されました。招聘アーティストと産地企業が作品制作を行うKYODO PROJECTでは、ジュリエット・ベルトノー氏と武藤（株）、森山茜氏と舟久保織物の二組のコラボによる作品制作を支援しています。企業の工場での本番制作の前に必要な試作開発に今春新設されたイノベーション支援棟のサンプル織機などの新規設備が活用され、完成品がそれぞれFabCafe Fujiの内壁、エントランスを飾りました。

森山茜氏の作品



ジュリエット・ベルトノー氏の作品

(富士技術支援センター 繊維技術部)

Contents

- Page 1 郡内織物産地の未来を紡ぐセンターの挑戦
- Page 2 ほうとう鍋、グッドデザイン賞受賞！
NEDOプロジェクト燃料電池材料評価
- Page 3 新規導入設備のご紹介
- Page 4 インフォメーション

山梨の食文化と地場技術が融合した日常使いの新しいほうとう鍋 「甲州鉄器『ぐつぐつ』」が2025年度グッドデザイン賞を受賞！



GOOD DESIGN
AWARD 2025

2025年10月15日、当センターと(株)大沼デザインスタジオが共同開発した「ほうとう用鉄物鍋（製品名：甲州鉄器『ぐつぐつ』）」が、2025年度グッドデザイン賞を受賞しました。

本製品は、山梨の郷土料理「ほうとう」を現代の暮らしに調和させるために開発された鉄物鍋です。山梨県の伝統的な食文化と地場の技術を融合させた“山梨らしさ”あふれる地方創生型プロダクトとして高く評価されました。



本製品は意匠権を取得しており、今後は、製造を希望するメーカーへのライセンス提供を通じて、製品化を進めてまいります。

当センターはこれからも、地域に根ざした公設試験研究機関として、地場産業の技術と山梨の魅力を掛け合わせた新たな価値づくりに挑戦し続けてまいります。

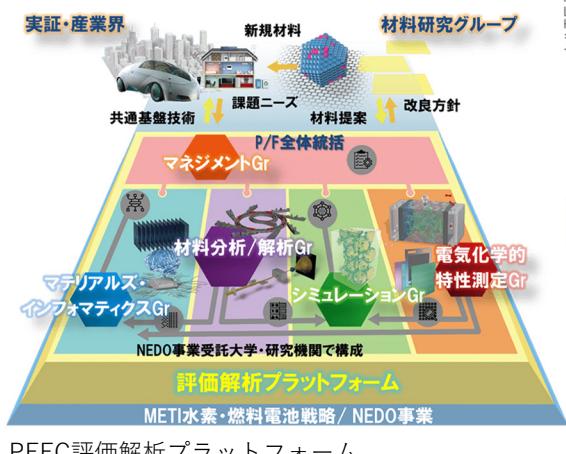
(甲府技術支援センター デザイン技術部) 詳細は[こちらから](#)



水素と燃料電池で未来を動かす、新たな挑戦 NEDOの研究開発プロジェクトで燃料電池材料の電気化学評価

当センターでは、2025年度から新たな燃料電池評価事業に取り組んでおります。これまでの10年間、燃料電池材料の性能評価を担い、日本の水素・燃料電池技術の進歩に大きく貢献してきました。燃料電池は、水素と酸素の反応で電気を生み出すクリーンな発電技術であり、脱炭素社会の実現に欠かせない存在です。私たちは、触媒や電解質膜などの材料を評価し、材料を開発する大学や企業に評価結果を提供することで、材料開発に貢献してきました。

今回採択された後継事業は「水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業」。2025年度から2029年度までの5年間、燃料電池や水電解に関する基盤技術の開発を進めます。当センターはこれまで同様、開発された燃料電池向けの新しい材料の電気化学的特性を評価する役割を担当し、「PEFC評価解析プラットフォーム」の一員として活動します。このプラットフォームは、燃料電池の性能や耐久性を高精度で解析するための共通基盤であり、産学官が連携して技術開発を加速する仕組みです。



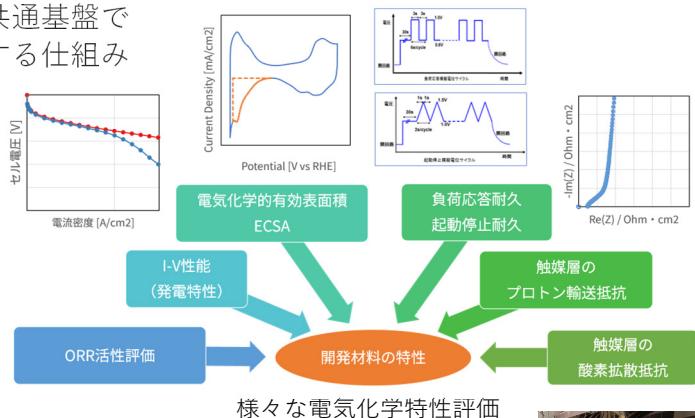
さらに、今回の事業では以下のデジタル技術(DX)を活用し、燃料電池材料評価の効率化と高度化を推進します。

- ・自動測定によるスピードと精度の向上
- ・マテリアルズインフォマティクス(MI)によるデータ解析と性能予測

これらの取り組みで開発材料の課題を整理し、次世代の燃料電池の設計に役立つ指針を提示することを目指します。

水素社会の実現には、燃料電池の高性能化と低コスト化が不可欠です。当センターは、評価技術の高度化を通じて企業や研究機関の開発を支援し、日本の水素エネルギー技術の競争力強化に貢献していきます。今後も、持続可能な社会の実現に向けて、技術革新を支える基盤づくりに挑戦していきます。

(甲府技術支援センター 化学・燃料電池科)



様々な電気化学特性評価



発電評価装置
(自動測定対応)

新規導入設備のご紹介

当センターでは、補助金などを活用し、県内中小企業支援のための設備拡充に努めています。今年度、公益財団法人JKAから「2025年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」による補助金（競輪の補助金）の交付を受け、「プラスチック射出成形機」と「落下衝撃試験機」を導入しました。



プラスチック射出成形機

ファンック（株） ROBOSHOT α-S30iB

プラスチック射出成形機は、ペレット状のプラスチック材料を、シリンダー内で加熱して溶融させ、スクリュで混練した後、金型へ射出し、金型内で冷却・固化することで、プラスチック製品を大量に成形する装置です。容器、自動車部品、家電、医療機器など幅広い分野で利用され、寸法精度や表面品質の確保に優れています。

プラスチック製品は、食品容器などの身近な製品から、医療介護関連機器や航空・宇宙関連機器などにいたるまで、多くの製品に使用されています。これらの製品の製造や開発現場においては、成形時の不良対策、材料選定のための物性評価、樹脂材料開発などに取り組まれているかと思います。このような取り組みを支援するため、「ダンベル試験片の成形」「金型を持ち込み試作成形」「成形性評価」「成形データの取得」の用途の活用が期待できます。

（富士技術支援センター 機械電子技術部）



プラスチック射出成形機



詳細はこちらから→

落下衝撃試験機

神栄テクノロジー（株）

本装置は包装貨物や機器に対して、姿勢を保持した状態で落下させることができる装置です。落下の際の高さや姿勢を変え、加速度センサを取り付けて落下時の衝撃加速度を測定することができます。また、振子の先端に製品を取付け任意の衝撃加速度を与えることで、姿勢保持が難しい小型製品でも精度の高い落下を想定した衝撃試験を行うことができます。

（甲府技術支援センター 機械技術部）



振子式衝撃試験機



← 詳細はこちらから

包装貨物落下試験機 DTS-80
振子式衝撃試験機 PST-300



包装貨物落下試験機

お気軽にお問い合わせください

当センターでは、技術的な研究開発、課題・問題解決、情報収集、技術習得など、ものづくりの現場で生じる様々なニーズに幅広くお応えしております。

担当部署などがわからない場合は、**総合相談・連携推進科**までお問い合わせください。

TEL : 055-243-6111 (代表)

E-mail : yitc-cap@pref.yamanashi.lg.jp

ホームページをご活用ください

センターホームページでは、当センターの利用に関する情報や、保有設備紹介、講習会やイベントの案内など、当センターを利用される方に有益な情報を公開しております。また、表示ページ下のお問い合わせフォームからのお問い合わせも可能です。ぜひご活用ください。



URL <https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>

メルマガに登録して最新情報をゲット！

当センターでは、メールマガジン（メルマガ）を配信しております。講習会のご案内をはじめ、県や国が公募する補助金事業など、皆さまにとって“知って得する”最新情報をいち早くお届けします。ぜひご登録ください。

メルマガは「山梨県住民向け情報配信システム」を利用して配信しております。お申し込みは、下記の二次元コードから簡単に行えます。



配信申込はこちらから→

Informationの記事に関するお問い合わせ先 >>> 企画・情報科 TEL : 055-243-6111 (代表)

アクセスのご案内

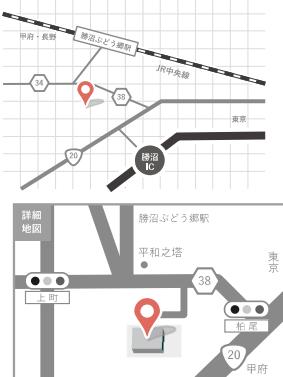
①管理・連携推進センター
②甲府技術支援センター
〒400-0055 甲府市大津町2094
TEL : 055-243-6111



③富士技術支援センター
〒403-0004 富士吉田市下吉田6-16-2
TEL : 0555-22-2100



④ワイン技術部
〒409-1316 甲州市勝沼町勝沼2517
TEL : 0553-44-2224



NEWS 山梨県産業技術センターニュース・通巻26号

Vol. 26 Yamanashi Industrial Technology Center

本誌掲載の写真・記事の無断転用を禁じます。

発行日：令和8年1月14日 編集・発行：山梨県産業技術センター

駐車場のご案内

甲府技術支援センター

敷地内の駐車場について、イベントや工事などで駐車できない場合、アイメッセ第3駐車場もご利用いただけます。

最新の駐車場案内は、センターホームページをご確認ください。



URL <https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>

富士技術支援センター

令和7年7月～令和8年2月末（予定）の間、試験棟の解体工事を行っております。そのため、構内の来庁者駐車スペースは13台程度となっております。つきましては、利用者の皆様の安全確保のため、指定場所への駐車をお願いいたします。イベント等で駐車スペースが不足する場合は、別途お知らせいたします。

最新の駐車場案内は、センターホームページまたは下記の二次元コードからご覧ください。

利用者の皆さまには、引き続きご不便をおかけして誠に申し訳ございません。ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



詳細はこちらから→

山梨県産業技術センター 〒400-0055 山梨県甲府市大津町2094
TEL : 055-243-6111 / FAX : 055-243-6110

E-mail yitc-cap@pref.yamanashi.lg.jp

URL <https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>

